

本町コース

札所名・番号 八十八ヶ所 64番、84番 木 観音寺 二十一ヶ所 4番

住所 流山市 木1421

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 64番 伊予 前神寺、84番 讃岐 屋島寺

- ・豊谷山観音寺: 創建 不詳。真言宗豊山派。本尊 十一面観世音菩薩。隣接地の木 香取神社の別当寺。境内に、十三仏庚申塔: 慶安四年(1651年)「奉供養庚申待結衆二世成」や、地藏菩薩や六地藏等石造物等。
- ・入口の門左手に江戸川二十一ヶ所の標柱: 「弘法大師廿一ヶ所第四番木村観音寺」、右面「文政二己卯天三月二十一日」。参道を進み、本堂の左前に修行大師像、右手前に大師堂。八十八ヶ所 64番(銅製)、84番。

大師堂、八十八ヶ所

64番

84番

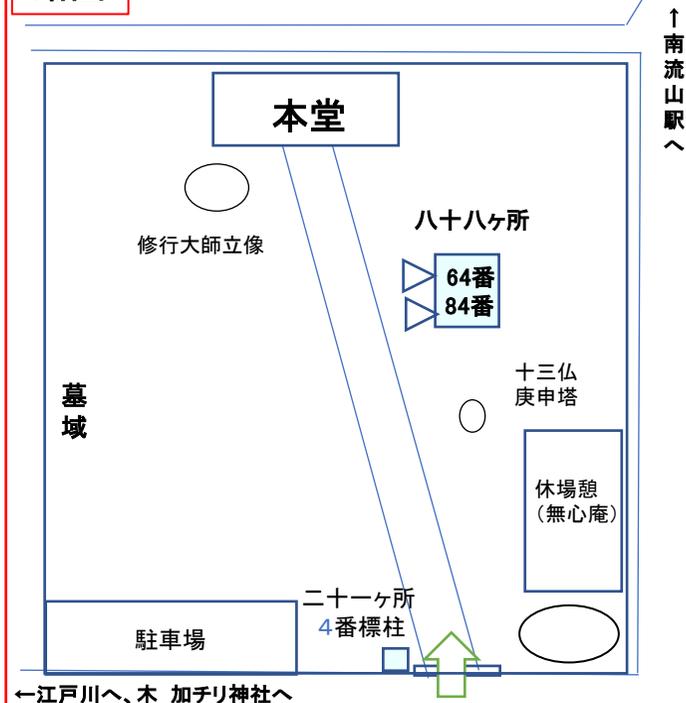


二十一ヶ所
4番標柱



略図

アクアスイート



案内図



修行大師立像



十三仏庚申塔



札所名・番号 八十八ヶ所 87番、19番 流山寺

住所 流山市流山七丁目589

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 87番 讃岐長尾寺、19番 阿波 立江寺

- ・洞雲山流山寺：曹洞宗、創設不詳（江戸時代初期）、本尊 薬師如来。宝暦2年（1752）再建。昭和40年火災再建。流山七福神大黒天、庚申塔（猿田彦）。大川斗圍句碑（天保2年）、碑には衝撃による疵がある。戦時中、近くに落ちた爆弾の破片によるもの。新選組来流時隊員一部宿泊。
- ・本堂手前の右手に大師堂2祠。八十八ヶ所①流山寺87番、②19番（銅製）は、流山寺の西側に以前あった元「庄内屋」の大師堂。①②の間に87番標柱（文政7年）。

*「庄内屋」は武蔵国庄内領葛飾郡堤村出身（現埼玉県杉戸）、菓子屋、食堂、旅館等変遷。流山寺の西側の旧流山橋周辺。眉山住職談：流山街道の造成により、宿の表通りから移転後に閉店。この頃大師堂は流山寺に移設。庄内屋本家の移転先情報：分家移転先は流山街道の富塚輪業と小西屋間の新しい民家の辺り。本家は「すし清」として移転。（岡本さん調べ：平和台駅から江戸川方面に向かい道路右側50m程辺りは元寿司中川屋（兼 蕎麦屋、氷問屋）の模様。尚、両寿司屋の関係は不明。）

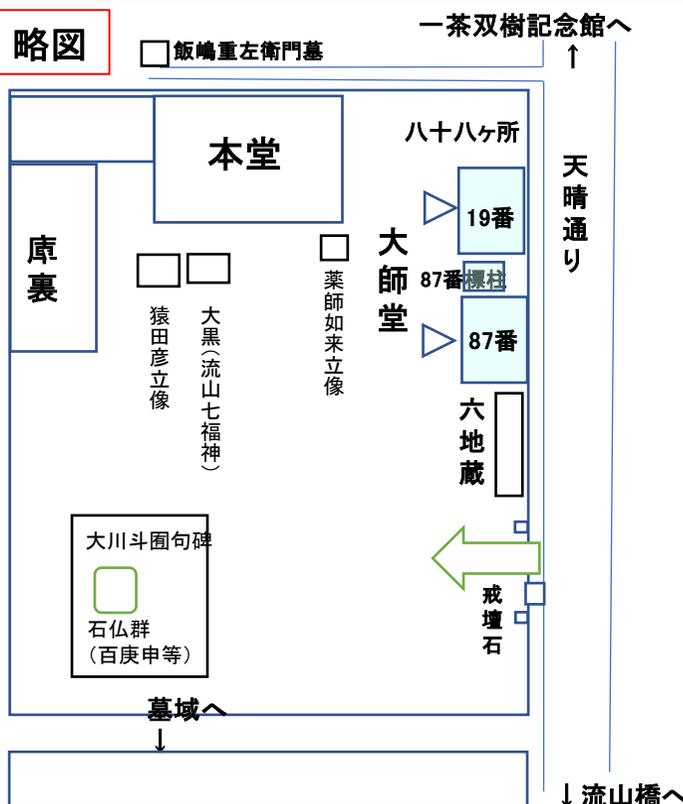
大師堂 19番



87番



略図



案内図



札所名・番号 八十八ヶ所 77番、(旧常円坊7番) 光明院

二十一ヶ所 5番

住所 流山市流山六丁目651

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 77番 讃岐道隆寺 7番 阿波 十楽寺

- ・赤城山信楽寺光明院: 真言宗豊山派、創建不詳、本尊不動尊。明治22本堂改築。明治初期迄は赤城神社の別当寺。菩薩形坐像(旧長福寺)。新選組来流の寺、俳句の寺、たらよう(葉書の木)。一茶双樹連句碑等、句碑。秋元三左衛門(双樹)、平八(洒汀)、堀切家等の墓。
- ・昭和11時には大師堂7番は常円坊にあったが、常円坊廃止時に77番大師堂内に移設された。二十一ヶ所5番の標柱年は1865年。21ヶ所霊場は88ヶ所霊場へ拡大後も一斉拡大でなかった可能性あり。21ヶ所霊場としても、一部併存していた可能性有。

77番 7番



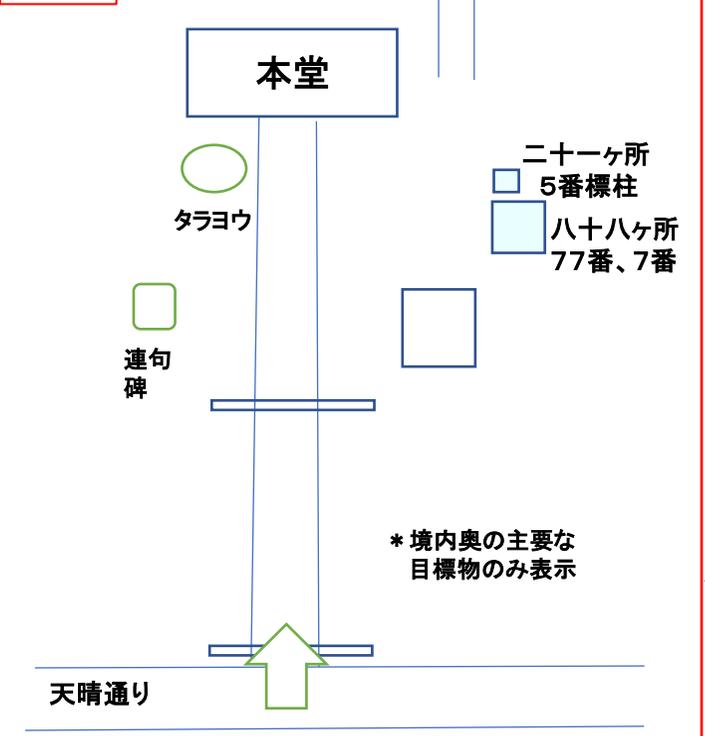
77番大師堂。内に2体(7番、77番)

二十一ヶ所5番標柱 大師堂の左脇



正面「廿一箇所第五番厄除弘法師」、左面「元治二丑歳四月吉日」。(1865年)

略図



(参考 光明院本堂)



大師堂内に大師像2体

案内図



歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 14番 阿波 常楽寺 15番 阿波 国分寺、19番 阿波 立江寺

- ・旧正覚寺(廃寺)跡:真言宗の寺院。大正3年、光明院に合併(神社明細帳)。万上通りの山崎医院の横道を堤防に向かい横道を左に進んだ空地に大師堂、石神仏群。大師堂は令和2年4月再建された。八十八ヶ所14番、15番札所。二十一ヶ所6番札所(明治41年)。石神仏群の中に、「お砂踏み塔」、「江戸川八十八ヶ所建立記念碑」(15番、昭和9年)等。
- ・堂内には3体の大師像。1体は88ヶ所19番(明治43年)。1体は銅製で秋元三左衛門祖先供養とある(昭和11年時に新たな46ヶ所の1つとして当所に安置したもの)。もう1体は札番不明。かつては堂が2つあり昭和11年時に新たに14番と15番の木札が掛けられたが、一方の堂内には19番と不明の1体の大師像が置かれたのではないか。つまり、新たに指定された札番に対し、旧札番の大師像をそのまま安置したと考えられる。また、明治43年には21ヶ所と88ヶ所が同居していたことがわかる。

・「四国第1番お砂踏み」
一周すると八十八ヶ所巡った事になるといわれる。



・第15番江戸川八十八ヶ所建立記念碑 → (昭和9年再興時)



大師堂

14番
15番

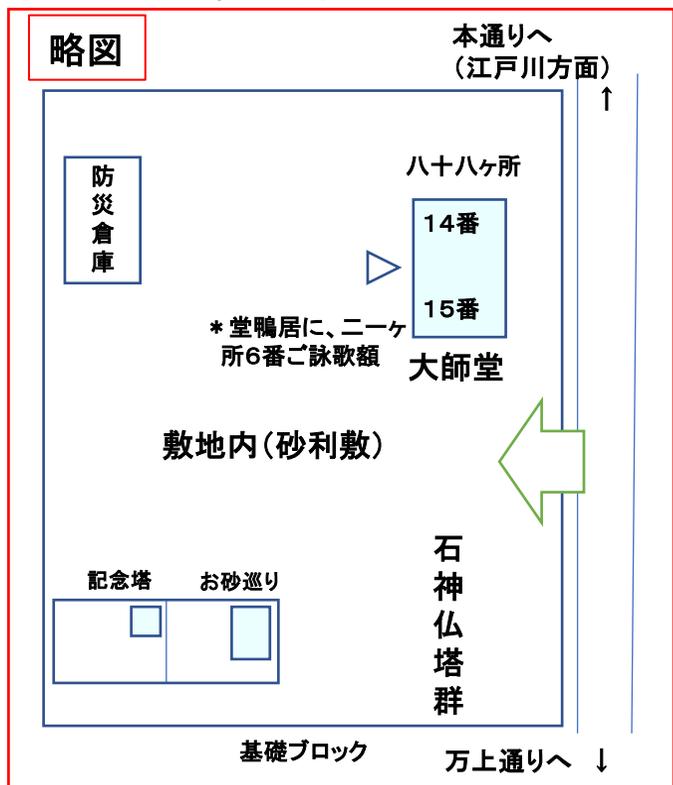
大師像

上段

下段(2体)

左側:秋元三左衛門が奉納した大師像(銅製)
右側:19番 大師像

二十一ヶ所6番
明治41年御詠歌額



札所名・番号 八十八ヶ所 46番、66番 閻魔堂

調査日 2023.2.4

八十八ヶ所 21番

調査者 塩崎、岡本、佐藤

住所 流山市流山二丁目116

歴史・伝承 四国八十八ヶ所寺名 46番 伊予 浄瑠璃寺、66番 阿波 雲辺寺

- ・旧流山村根郷(流山1-4丁目)の共同墓地。敷地内に市有形文化財の閻魔堂(民間信仰の場,堂寮)、閻魔坐像(安永五年)。金子市之丞(金市)の墓、「裕福な造酒屋に育つが、博奕し盗賊となった。地元では義賊。講談「天保六花撰」、歌舞伎「天衣紛上野初花」等有名。三千歳の墓等。恋愛成就、勝負運等のパワースポット。
- ・正面奥に大師堂、左に八十八ヶ所46番(木札有り)、右に66番の大師堂(木札無し)。閻魔堂入口左手の標柱には「四国八十八ヶ所第21番阿州大龍寺写」(明治36年)とある。大龍寺は阿波屈指の名刹。



46番

66番

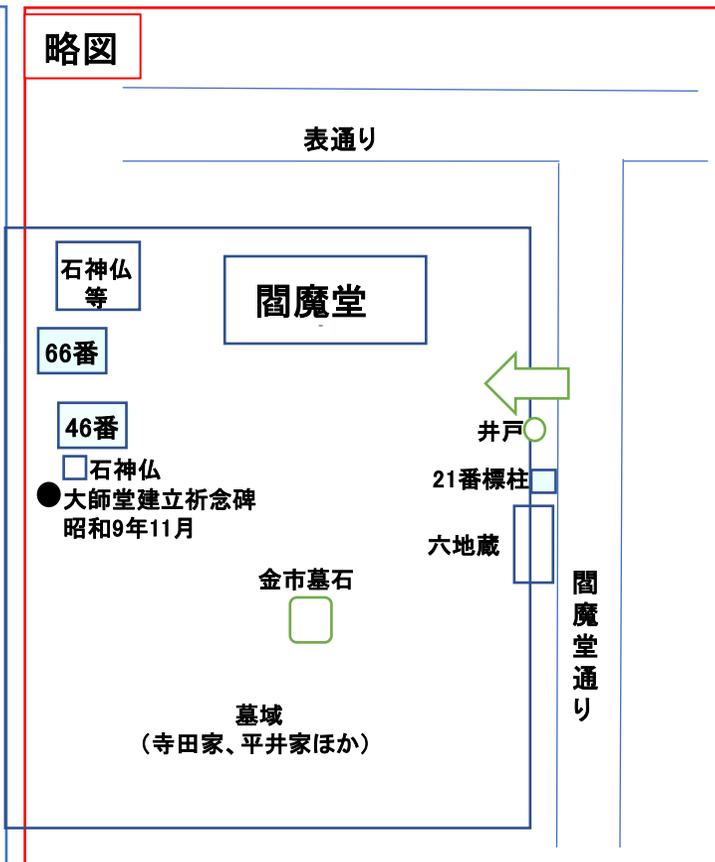


46番は木札あり
66番は木札なし

正面中央「新四国八十八ヶ所」
正面右「第二十一番阿州大龍寺寫」
正面左下「閻魔堂」
右面「明治三十六年三月」

* 阿州=徳島

略図



案内図



* 大師堂の奥の敷地(草地)も共同墓地敷地か？